

滋賀県レイカディア大学同窓会 日野分会だより

・・な　な　い　ろ・・

滋賀県レイカディア大学同窓会
中部支部日野分会だより
発行日：2026年10月1日
発行者：滋賀県レイカディア大学
同窓会中部支部日野分会
分会長：福永 保
TEL：0748-52-1553

新入会員を迎えて

第39期 北近江文化学科

分会長 福永 保



毎月第3月曜日は日野駅な
ないろレイカカフェ、9月2
1日敬老の日の祝日と重な
ての開催となりました。

これまで自前のエプロン
を使って来ましたが、この日
から「レイカカフェ」の文字
入りのエプロンをユニフォーム
として新調しました。さらに
キャップも統一して作成する
予定です。

アメリカから日野に移住さ
れたジャンタさんのダルシ
マー（金属製の弦を木製パチ
で叩いて演奏する打弦楽器）
の演奏と歌の披露もありまし
た。ジャンタさんはよく来
られ、レイカカフェもすっか
り国際的になりました。この
日は甲南からウォーキングの
会の方が13名一度に来られ
たり、まさに満員御礼の大盛
況となりました。さらに9月
17日に卒業式を終えられた
46期北近江文化学科の方も



新会員となった
第46期卒業生のカルテット

た4名の方の新入会歓迎会を兼ねて懇親会を開催
しました。新入会員を含めて12名の参加で、初
対面の人もありましたが一人ずつ自己紹介をして
すぐに和やかに会話が弾みました。同窓会に入会
してからの中部支部や日野分会の様々な行事など
も紹介しま
したが、積
極的な方が
多くこれか
ら一緒に活
動できるこ
とが楽しみ
です。



新入会員歓迎パーティー

この数年
日野分会に
入会して頂く方が増加して、24名となり今後の
活動も大所帯になりますが、レイカの卒業生は皆
さん前向きに考えられる方ばかりで、これからも
明るく楽しい日野分会を続けられるように尽力し
て行きたいと考えております。

6名来られ、在
学中の話や今後
の活動などの話
で大いに盛り上
がっていました。
レイカカフェ
閉店後18時か
ら同じ日野駅な
ないろで、同窓
会中部支部日野
分会に入会され

新入会員の声 「茶道の心と思い」

第46期園芸学科 福本喜美代



9月17日に卒業式を終えまし
た。

レイ大では、偶然にも同級生の
井上百合子さんと同じ園芸学科
で、往復の車中は学校や畑の話
で楽しく中身の濃い時間を過
せました。

これからも学科の仲間全員と
繋がりが続くこと、また新たに同
窓会という繋がりが出来ること
を嬉しく思っています。

どうぞよろしくお願いいたし
ます。

2年間の学生生活は終わしま
したが、若い頃から続けている茶
道が私にとってずっと続く学び
の場です。始めた頃は、ややこしく感じる作法で
したが、繰り返すうちにもっと覚えたいと一生懸
命になり、いつの間にか体が覚えていくという感
覚です。最近では忘れていることが多いのも確
かですが（笑）。何よりも稽古をしている間は亭主
とお客が、お互いに相手を思っている感じが、と
ても居心地の良い空間になります。

私はこれが茶道の良さであり、ずっと続けてい
る理由だと思っています。

千利休が茶道の精神や作法をわかりやすくまと
めた利休道歌の一つに「稽古とは一よりの習ひを
知り、十よりのくせのつくり」とあります。今

はカルチャー茶道教室の子どもたちとお稽古をしながら茶道の良さが伝わるように、実践を通しての学びを大切にしています。

東近江市平田地区の歴史



氏郷公ゆかりの「後藤館」について

八日市分会会員 加藤 一政

時々、日野駅での「レイカディア」を訪問し、知人や大先輩との再開も出来、同窓会仲間の皆さんと楽しいひと時を過ごさせていただいています。

在住の羽田地区には観音寺騒動で知られる「後藤賢豊（かたとよ）・父子」の「後藤館（やかた）」があります。地域事業で散策する身近なものです。

6人の同好会「平田再発見委員会」に所属しており、趣味的な調査をしています。

末裔、後藤さんを尋ねて仏壇の位牌を見せていただいたり、滋賀大経済学部へ古文書を見に行ったり、観音寺城の後藤邸・進藤邸の石垣を見に行きます。仲間の一人は「竹藪伐採整備」に行くほどの熱心さです。

羽田地区

には「雪の山

古墳」や「八

幡社古墳群」

もあり、瓶割

山城跡（長光

寺城）など歴

史豊かな地



域です。調査結果を「地域の文化祭」で発表したり、冊子を作り3度全戸配布しました。

話は日野の武将「蒲生氏郷」に移します。日野分会の福永保様の講演会をレイカ同窓会中部支部で実施しました。中野城見学に行ったりしました。

氏郷の妻が織田信長の娘「冬姫」など聞きました。

ある時「氏郷の母親が後藤賢豊の妹・おきり」と聞かされました。勉強不足とは言え、ここで日野と羽田地区が繋がったことに驚きました。

また「徳永真一郎」の「燃ゆる甲賀」（三上騒動・天保一揆）の講演を50年ほど前に聞いたことが有り、レイカディア大学の卒業課題学習に取り上げました。

課題をまとめているうちに、「地域の調査の久保家文書」に出てくる羽田出身の人物が三上騒動の人物であることを知りました。

他の地域と繋がることもあり、楽しい出会いもあります。



編集後記

10月の和名は「神無月」と言っ

過日、民生委員経験者の集まりである、「**なつび会**」に参加いたしました。懐かしい人に会うことが出来ました。

会場だった「三重県湯の山温泉 希望荘」のロビーに掲げられていた扁額に、『**地に灯速ふ縁ありて あなたにあえてほんとによかった**』と、流麗なる筆さばきの連綿体で、したためられていました。

時を隔てての出会いには、一昔二昔前の面影と今の風貌への移ろいが、えもいわれぬ味わいを醸し出します。

先輩、同輩、後輩たちの、昨今の便りをさまざまに聞けば、命ある者の還浄の

砌は、正に老少不定の理を、そのままに表しています。

だからこそ、その日その日の日常を、心穏やかに「**自然法爾**」と参りましょう。

担当 第30期

地域文化学科 堀江 勇夫